

# ちょっとDeepな 佐田岬

実施日

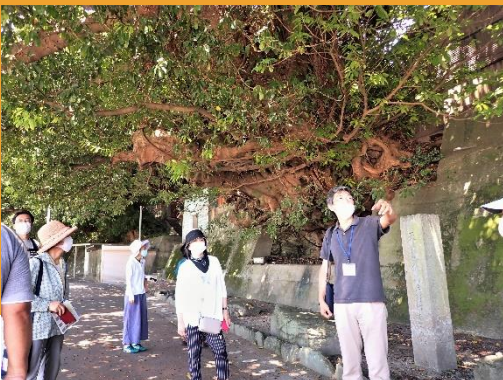
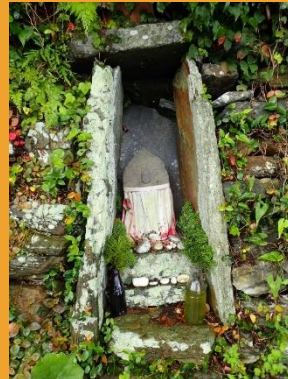
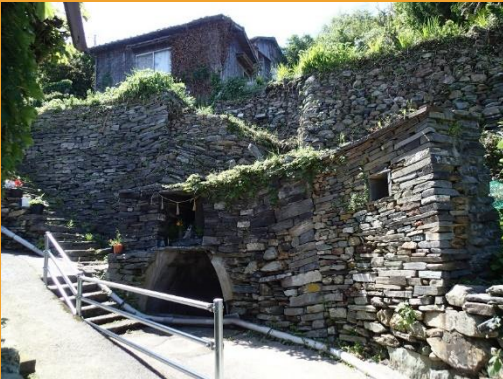
2021年7月27日(火)



松山市駅を出発し、最初の停車は、道の駅瀬戸農業公園。道の駅にご協力をいただき、ウェルカムドリンクとして、清見などの柑橘ジュースをいただきました。濃厚で程よい酸味もあって、リフレッシュ！



本日のコースの目玉の一つ、独特の石垣が見られる名取地区を町見郷土館学芸員の高嶋賢二さんのご案内で散策しました。平野が少ない半島では、石垣を築くことで平らな宅地や畑が造られ、井戸や祠、水神様も石垣に囲まれています。海を望むすばらしい風景も堪能しました。



三崎港の近くのアコウ樹を見学。推定樹齢600年といわれ、国指定有形文化財に指定されています。昼食は、2020年5月にオープンした佐田岬はなはなで、名物のしらす丼をいただきました。



- ①道の駅 瀬戸農業公園
- ②名取地区
- ③三崎のアコウ樹
- ④佐田岬はなはな
- ⑤オリコの里
- ⑥伽藍山
- ⑦道の駅 きらら館



佐田岬半島には、**裂織り**という織物が伝わっています。緯（よこ）糸に古着などを裂いた布を使い、丈夫で暖かく、仕事着や防寒着になっていました。  
**「佐田岬裂織り保存会」**は旧大佐田小学校を**オリコの里**として整備し、物を大切にする暮らしと機織りの楽しさを伝えようと活動しています。代表の小林文夫さんにお話しを聞き、**機織り体験**にもチャレンジしました。



最後の目的地 **伽藍山** (413.6m) は、佐田岬半島で最も高い場所です。草刈りを行うなど、整備に尽力している元地域おこし協力隊の橋田豊代さんにご案内いただきました。鳥の渡りでも有名で、日本野鳥の会愛媛代表の松田久司さんに、鳥が風を利用して渡る様子などのお話しを聞き、九州を望む風景を楽しみました。